

# エラー”コード39”と出た場合の対処方法

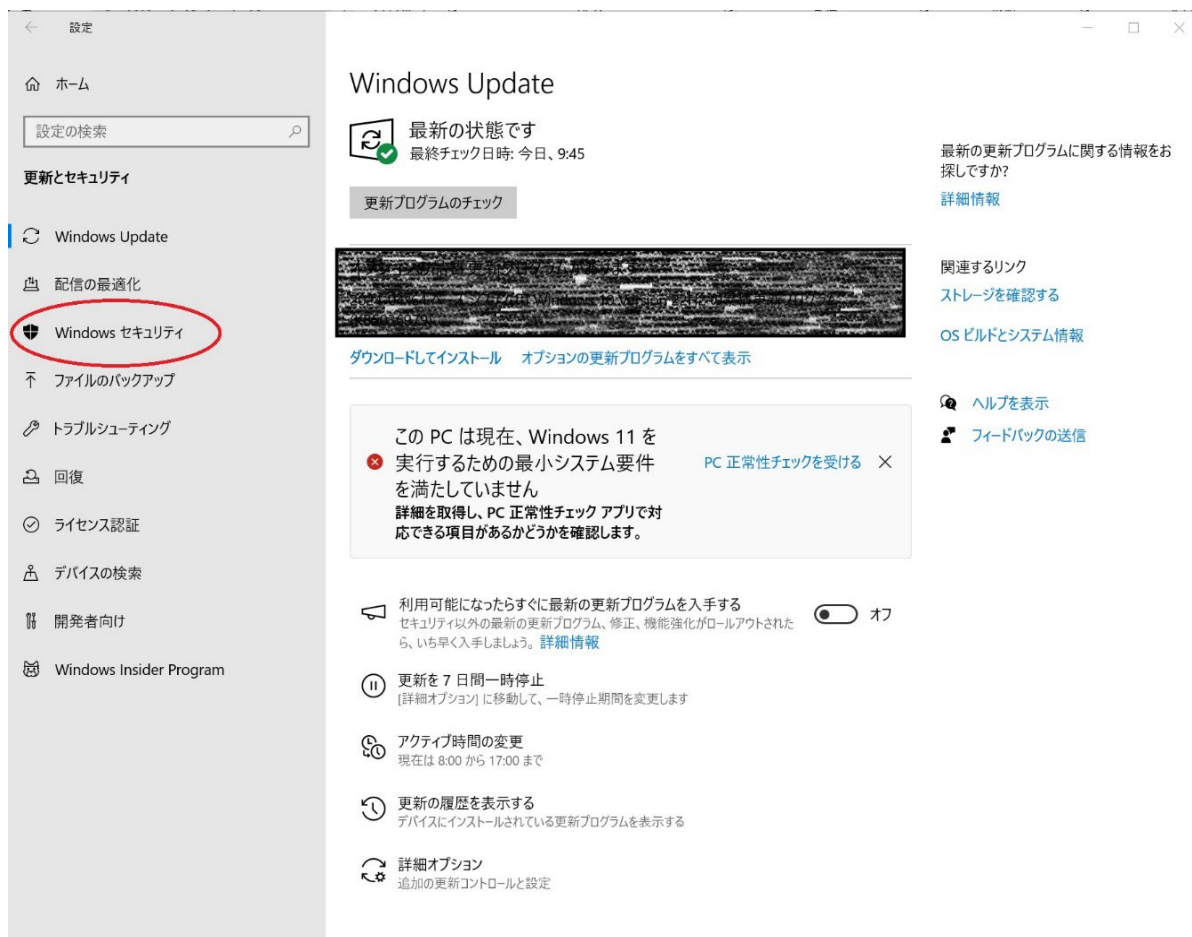
ドライバーインストールを実行した際にインストールが失敗し  
コード39と表示された場合はセキュリティの設定を変更する必要があります。

セキュリティ設定でメモリー整合性という項目がONになっている状態ですので  
メモリー整合性をOFFにして頂ければ、インストール出来ない問題は解消されます。

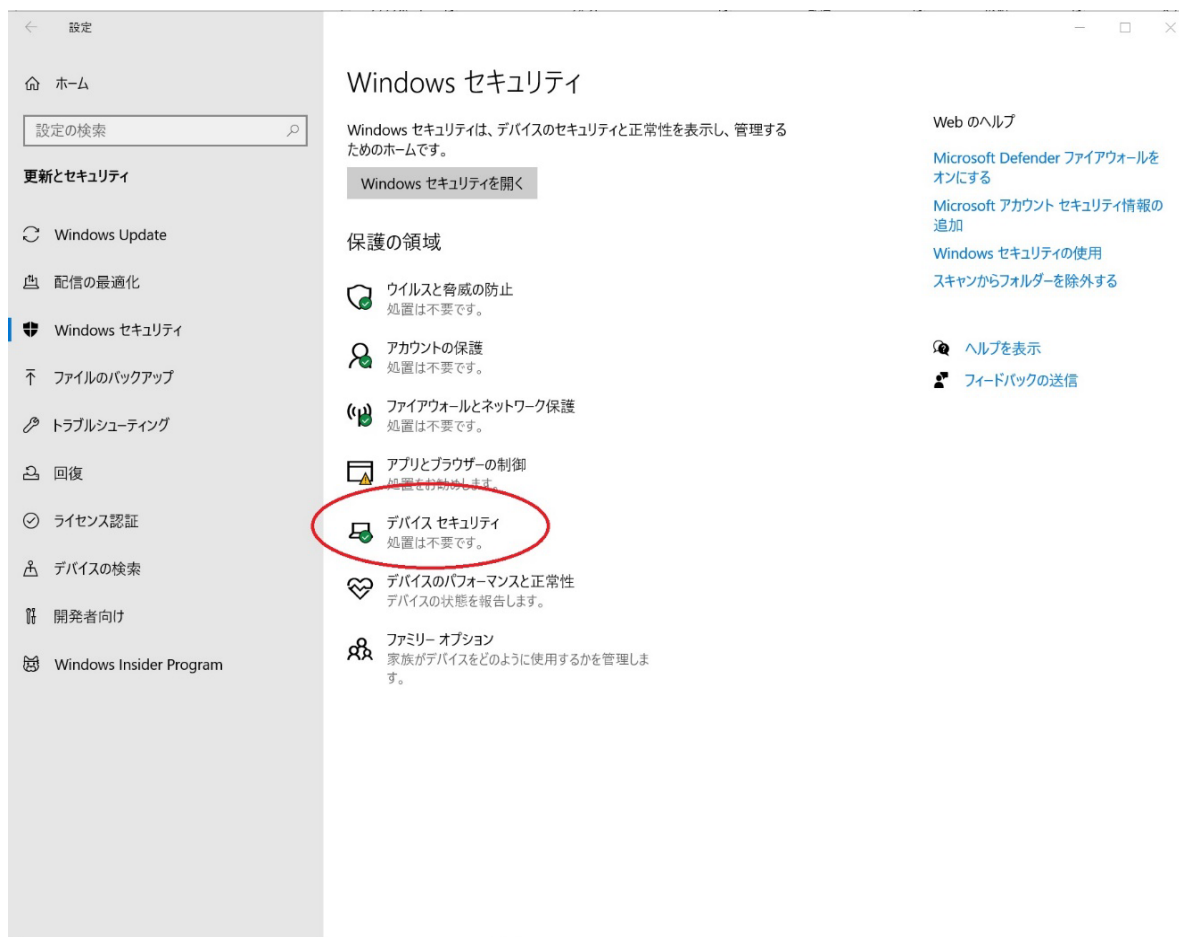
設定の変更は下記手順をご参照ください。

①画面左下のWindowsマーク（スタートボタン）を右クリックし、”設定”を開きます。

②更新とセキュリティをクリックし、Windowsセキュリティをクリックします。



③”デバイスセキュリティ”をクリックします。



④コア分離の”メモリ整合性”をオフに設定します。

